

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：森林整備費

## 事業名 早生樹導入実証プロジェクト事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林整備課 整備係 電話番号：058-272-1111 (内 3194)

E-mail: [c11515@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11515@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 4,600 千円 (前年度予算額：7,000 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	7,000	4,289	0	0	0	0	0	0	2,711
要求額	4,600	2,211	0	0	0	0	0	0	2,389
決定額	4,600	2,211	0	0	0	0	0	0	2,389

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

主伐・再造林の低コスト化が期待される早生樹(コウヨウザンやセンダン等)の植栽について、全国的に関心が高まっている。岐阜県では、早生樹による森林造成実績は無い。早生樹を県内に導入するには、岐阜県の気候に適した樹種であるか調査し、施業体系を確立し、地域森林計画と市町村整備計画に造林樹種として位置付けることが必要である。

平成30年度に岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアムが独自に、コウヨウザンを400本植栽したが、小面積であるため、施業体系を作成するために必要なデータを十分に得られていない。同事業の活用により、令和元年度にコウヨウザンを1750本、令和2年度にコウヨウザン及びセンダンを計2250本植栽したが、県内における早生樹の導入事例が少なく、県内での早生樹の生育状況や、施業体系が不明な点などが課題となっている。

### (2) 事業内容

#### (ア) 事業目的・事業効果

本事業では、3年間の実証的な調査を通じて得られた結果を基に、県内での早生樹利用に向けた森林整備に必要な導入指針を策定する。

(イ) 内容

- ・ 早生樹の植栽（1箇所 約1ha）
- ・ 実証試験の生育調査 3カ所（R元年度、R2年度植栽地）
- ・ 実証試験報告書作成 1式

(3) 県負担・補助率の考え方

国：2/3

県：1/3

県の施業基準の策定のため

(4) 類似事業の有無 無

### 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託費	4,300	早生樹の植栽
事務費	300	実証試験の調査、報告書作成 旅費 150 千円、消耗品費 150 千円
合計	4,600	

#### 決定額の考え方

### 4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第3期岐阜県森林づくり基本計画

多様な優良苗木の生産に向けた取組み

(2) 国・他県の状況

国や他県においても早生樹に関する研究事業や実践調査が行われているが、県内での調査事例はない。

(3) 後年度の財政負担

生育状況を継続的に調査する必要があるため、継続的に必要

(4) 事業主体及びその妥当性

- 1) 事業主体：県（植栽実施は「岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム」へ委託）  
本事業の試験地の設定は、産学官連携で森林・林業の新たな技術開発に取り組む「岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム」へ委託する。

- 2) 妥当性：森林・林業基本法第6条の県の責務にあたる。

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・多様で健全な森林への誘導や林業の成長産業化に向けて、早く大きく成長する早生樹の導入に向け、県内に適した樹種の選定や、植栽立地、施業体系をまとめた導入指針を作成する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
導入指針策定	なし (H30)			策定中 (R元)	指針策定 (R3)	0%

### ○指標を設定することができない場合の理由

--

### （前年度の取組）

岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアムに委託  
・県内1箇所（コウヨウザン及びセンダン）を植栽  
中濃地域 1.5ha

### （前年度の成果）

・県内で造林実績がないコウヨウザンを植栽し、その活着状況等を把握することができた。今後、成長量を把握し、導入に向け指針を作成する。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い</li> </ul>	
(評価) ○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多様で健全な森林への誘導や林業の成長産業化に向け、早く大きく成長する早生樹への期待が高まっている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の効果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) ○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内に2種類の早生樹（コウヨウザン、センダン）を植栽し、その活着状況等を把握することができた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価) ○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 早生樹の導入指針を策定するにあたり、基礎となる調査データの取得及び分析結果が得られるため、導入指針策定に向けての業務の効率化が図られている。</li> </ul>

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実証試験施工地の確保、コンソーシアム会員の協力（植栽及び獣害防止用資材の施工負担）</li> </ul>
---

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次年度も、実証試験地を増やし早生樹の適合性を検証することで、最終的に早生樹の導入指針策定に資する。</li> </ul>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	なし	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など		